

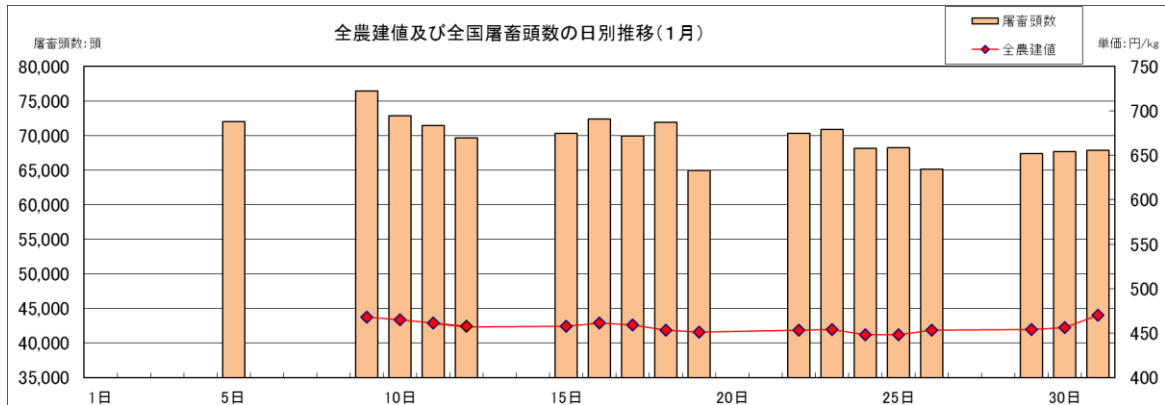
肉豚インフォメーション（1月）

● 1月の動向

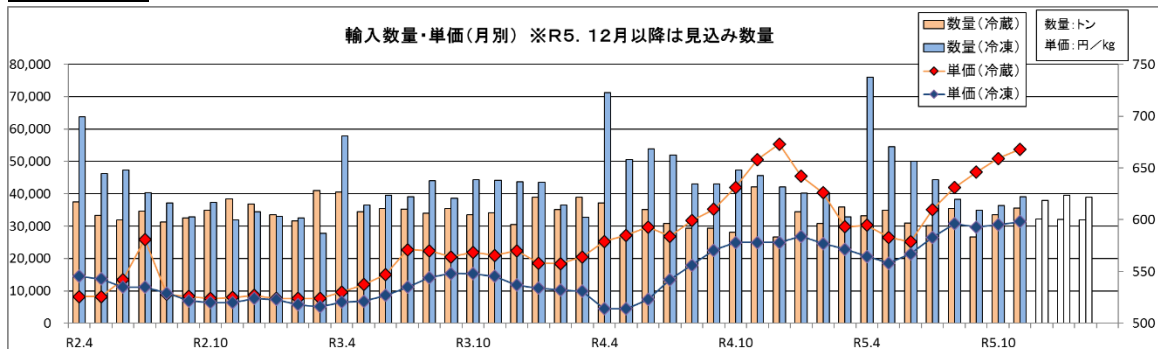
2024年1月（税抜）	2023年1月（税抜）
457円/kg（27円安）	484円/kg

※全農建値

1月は、全国的に平年と比べ気温の高い日が続いたことから、出荷頭数が7万頭を超えるなど堅調に推移したことや鍋需要の低下もあり相場は軟調な動きとなった。

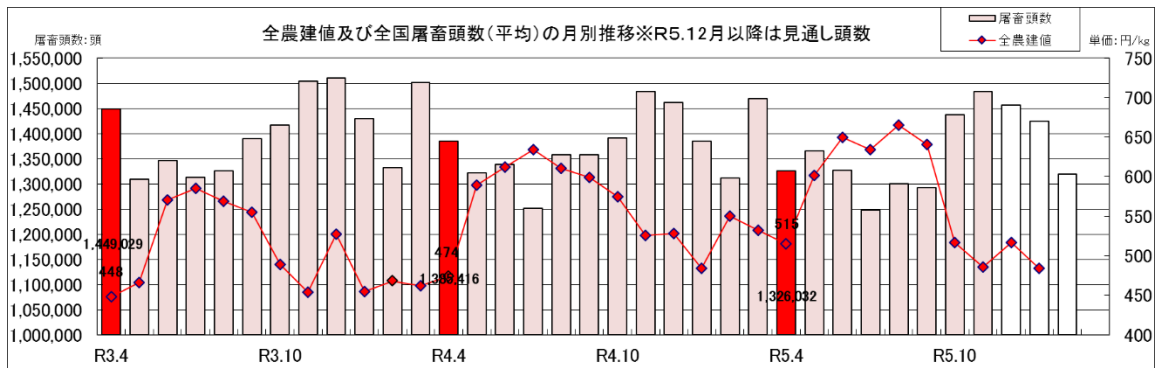


● 輸入動向



● 2月の動向

2月の出荷頭数は、前年同月をわずかに上回ると予測されている。



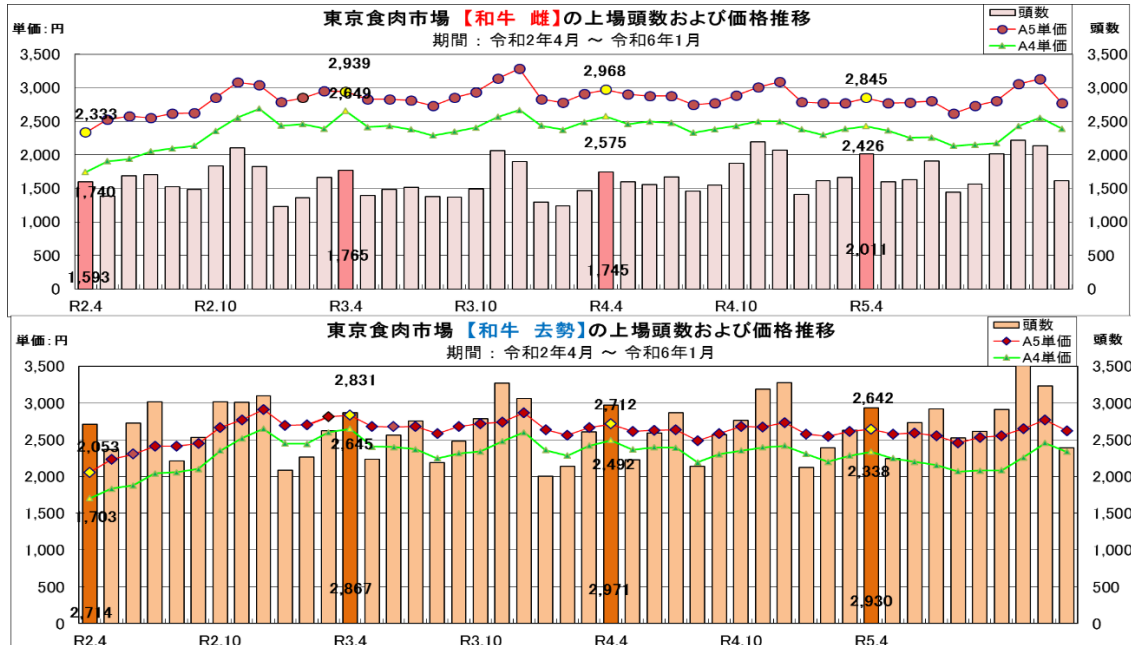
2月の相場は、軟調に推移する見通し。

全農建値（税抜）予測レンジは450円～500円とする。

肉牛インフォメーション（1月）

● 1月の動向

年末年始の休場が長かったため3週目頃までは堅調だったものの、後半につれて徐々に相場は緩む展開となった。



● 2月の動向予測

需要が弱い時期でもあり、消費者の節約志向などを背景に軟調な相場が見込まれる。

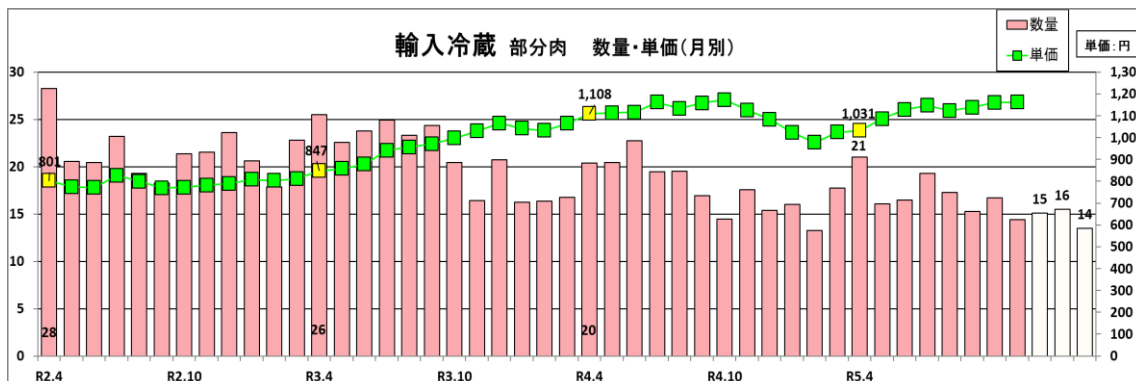
2月相場は「弱もちあい」の展開と予想。

和牛去勢 A5等級 2550円（税込み） A4等級 2,150円（税込み）

交雑去勢 B4等級 1,600円（税込み） B3等級 1,500円（税込み）

● 輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、1月は、国内需要が低迷下にある中、生産量の増加から豪州産輸入量が増加するものの、主要国を含むほとんどの輸入先からの輸入量が少ないこと等から、前年同月をやや下回ると予測する。2月は、国内需要が低迷下にある中、主要国を含む多くの輸入先からの輸入量が少ないものの、生産量の増加から豪州産輸入量が増加する等から、前年同月をわずかに上回ると予測する。なお、3か月平均では、前年同期をわずかに下回ると予測する。
(ALIC牛肉の需給予測について1月29日)



食肉インフォメーション（1月）

●1月の動向

○牛肉

年明け以降は年末需要の反動から節約意識が高まり、例年に増して末端消費が鈍くなっている。ロース等の高級部位はお歳暮の時期を過ぎたことで需要が落ち込んだが、切り落とし等の安価な部位は比較的好調な売れ行きとなった。

○豚肉

消費者の節約志向が強い中で、消費の鈍い状況が続いており、安価なウデ・モモ等のスソ物に需要が集まっている。また、平年よりも高い気温の日が多かったことから鍋物需要が伸び切らず、バラ・肩ロースは例年と比べて厳しい販売となった。

●2月の動向予測

○牛肉

2月は不需要期にあたり、消費者の節約志向も続く中、低価格な豚・鶏に需要がシフトしていくと見込まれる。安価なウデ・モモ等のスソ物は一定の需要が見込めるものの、ロイン系等の高級部位の販売は苦戦するものと予想される。

○豚肉

物価高による生活防衛意識の高まりにより、引き続き消費の鈍い状況が予想されるが、牛肉から豚肉への需要のシフトも見込まれ、特にスソ物は堅調な売れ行きになると予想される。しかし、2月も暖冬傾向で推移する予報であり、鍋物用のバラ・肩ロース等の需要は伸び悩むと予想されるが、気温が低い日が続けば鍋需要の回復も期待できる。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和5年12月期） 単位：千円、%

年度	J A	どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和3年度12月	15,789	29,007	10,562	52,511	26,593	14,000	9,627	158,179
令和4年度12月	16,196	26,274	9,282	43,031	26,840	13,918	8,978	144,519
令和5年度12月	17,785	23,344	9,662	53,459	28,188	16,663	6,714	155,815
増減 (R5-R4)	1,589	-2,930	380	10,428	1,348	2,745	-2,264	11,296
対比 (R3/R5)	112%	80%	91%	102%	106%	119%	70%	99%
対比 (R4/R5)	110%	89%	104%	124%	105%	120%	75%	108%